

ノベルティからブース提案、ブランディングまでセールスプロモーションも東洋プリディアで

SP Lab

セールスプロモーション ラボ

Category Space Design

販促EYEはSP Labに生まれ変わりました!

Vol.01



POINT

目指したのは「没入感」。

マスプロ美術館 エントランス ディスプレイ

浮世絵初心者でも前のめりで観覧できるきっかけづくりができないか?

国内最大級の収蔵数を誇る浮世絵美術館とも言われるマスプロ美術館ですが、来場者数は年々減少傾向にありました。それというのもマスプロ美術館には国立美術館のような専門学芸員がおらず、収蔵品の保守や管理はマスプロ社員が行っており、企画展などの企画や運営までは、手が回っていない状況でした。しかしこれからは体制を見直し、芸術的価値の高い収蔵品の数々を多くの方に見てもらえるようにしていきたい、そのためにも美術館エントランススペースを使って何か話題になるような仕掛けや装飾はできないか?と当社に相談が持ち掛けられました。

5つの課題

- 告知を考慮した告知映えする仕掛けとは?
- 今後は浮世絵に特化していく考え。
- 浮世絵のとっつきにくい印象をどう払しょくする?
- 浮世絵の魅力は隅々まで見ると様々な発見があること。
- 「行ってみたい」と思わせる話題になるような仕掛けとは?

エントランスの壁に浮世絵の世界を!

浮世絵の魅力をわかりやすくするには、その世界に飛び込むことと考え、「浮世絵作品を引き延ばしエントランスの壁全面に広げる」という提案をしました。その迫力もさることながら、作品に登場している人々の生活が垣間見え、一枚の作品から様々なストーリーを感じられるようになりました。ご担当者様は「想定していたより大掛かりになってしまった。」とおっしゃっていましたが大変喜んでいただきました。

Information



「マスプロ美術館」はマスプロ電工創業者の故端山孝氏が収集した浮世絵と磁器の美術館。特に浮世絵は20,000点以上もの作品を所蔵しており、幕末・文明開化期の所蔵作品数は日本最大級。知識のない方でも楽しめる見ごたえのある美術館です。

〒470-0194 愛知県日進市浅田上納80
入場料金/一般¥500 学生¥250
開館時間/9:00~17:00 (マスプロ電工業業日)
休館日/第2,第4日曜日
<https://www.maspro.co.jp/museum/>



POINT

モノを納めるだけじゃない。「世界観」をまるごとプロデュース。



大須メンチ 店舗ディスプレイ

「看板を変えたい」からはじまった規格外のプロジェクト。

まず店主様より「食べ歩きできるスタイルに変更するから、屋号も変えて看板を作り変えたい」という依頼をいただきました。しかし名古屋のサブカルチャー中心地「大須」という土地柄や消費者の世代や属性を考えると、看板を変えただけでは期待通りの成果が上げられないのでは?と考へ、壁面全体の改修を提案。思い切って壁面を漫画風にするというアイデアが生まれ、店主様をモデルにした少女漫画風イラストを採用することに。そうなってくるとこの世界観をもっと確固たるものにするためのBGMが欲しくなり、ボーカロイドを使ったBGM制作会社に依頼。詩にもこだわりオリジナルソングを制作し納品。昭和の少女漫画感を演出したBGMと相まって独特な世界観が完成。店主様にはとても喜んでいただき、TVや雑誌で紹介される人気店へと生まれ変わりました。

Information

「大須メンチ」は名古屋大須にあるメンチカツ専門店。もともとは伏見の人気店「名古屋 豚八堂」の2号店としてオープン。その後、「食べ歩きの街」として知られる「大須」の街に受け入れられるよう「メンチカツ」のテイクアウトショップへと方針を変更。豊富なメンチカツのバリエーションに伏見店名物「塩麹とんかつ」も加え、一風変わった外装とBGMが話題の人気店へと生まれ変わりました。

オリジナルBGMはこちらから



〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須3-22-30 KGビル 1F
 営業時間 / [火~木] 11:30~22:00 [金] 11:30~24:00
 定休日 / 月曜日
<https://twitter.com/om8838>

POINT

和菓子屋のような「老舗観」をパン屋に。

本間製パン「本食」ショップディスプレイ

高級食パンブームに遅れて参戦。後発で差別化させる手段とは?

「名古屋の地下街に高級食パン専門店を作る」とご相談をいただき、店舗ディスプレイを提案しました。しかし高級食パンブームも、すでにひと段落ついた感がぬぐえません。よって高級食パンという名前を前面に押し出すやり方では飽きられてしまう。そこで60年以上の長きにわたって名古屋の喫茶店文化を支えた「老舗感」を前面に押し出し、さり気ない高級感を演出しました。当初は数ヶ月間のテナント契約だったのですが、百貨店との交渉の末、常設店になりました。



〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅1-2-1
 名鉄百貨店メンズ館 B1F フレッシュステーション
 営業時間 / 10:00~20:00
<https://www.honma-bread.com/>

POINT

輝きと余白の美学で魅せる。



本間製ラスク

本間製ラスク アピタ銘店コーナーディスプレイ

並列する他社ショウケースとは一線を画す演出ができないか?

銘店コーナーと言えば四方をショウケースに囲まれ、贈答用のお菓子などが所狭しと積まれる販売コーナー。その中でひと際目立たせるために2つのことにこだわりました。

1つは「光量」。底部に乳白色の亚克力台を設置し、中にLEDランプを仕込みました。どこよりも輝いて見えるようランプの数にこだわりました。そしてもう1つは「余白の美学」。どのショウケースも一つでも多く見せたいと思うのか、ありったけのアイテムを展示しています。だからこそ展示商品点数を減らし、ビジュアル面を設けました。その清々しいほどのシンプルさと光り輝くLEDで足を止めてくださるお客様も増えたようで、大変ご好評をいただきました。



〒480-1124 愛知県長久手市戸田谷901-1
 アピタ長久手店 B1 銘店コーナー
 営業時間 / 10:00~21:30
<https://www.honma-bread.com/>